

## 電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<https://www.rhythm.co.jp>

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

#### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

#### お問い合わせ先

リズム総合サポート

<https://rhythm.jp/support/>

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。

例. 4MN000、4MNA00、8MN000、8MNA00

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2407)

### 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

#### ⚠ 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

#### ⚠ 注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の $\oplus/\ominus$ を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温泉など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。

### 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

#### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まつたらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

#### ■電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には向きでないので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には向かないものがあります。

(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

#### ■電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

●買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあります。

### 電池・時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

## GUARANTEE 保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 ご氏名 様  
ご住所  
TEL( ) -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

#### ■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

#### 保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小キズや汚れなど)
8. 電池の交換

### 電波時計について

#### 電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

#### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

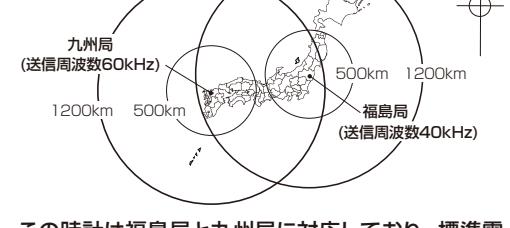
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどりや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。  
(<http://jjy.nict.go.jp>)

※アドレスは変更になる場合があります。

#### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

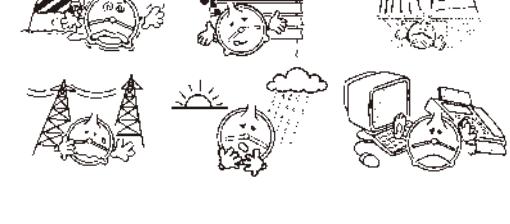
#### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブライドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

#### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することができます。



### おもな製品仕様

使用温度範囲  $-10 \sim 50^\circ\text{C}$  \*結露しないこと

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針  $\pm 1\text{秒}$  時分針 目盛りに対して  $\pm 3\text{度}$

標準電波を受信しない場合 平均月差  $\pm 20\text{秒}$  (温度が  $5 \sim 35^\circ\text{C}$  のときのクオーツ精度)

報時精度 表示時刻に対して  $\pm 1\text{秒}$

使用電池 単1形マンガン乾電池 JIS規格 R20P 1.5V 2個

電池寿命 約1年 (標準電波の受信に成功し、報時を音量中位で17回/日行ったとき)

報時機能 毎正時にメロディを1曲奏でる

暗所秒針停止 明暗センサーと連動して12時位

ON/OFFスライドスイッチ 置に停止

自動鳴り止め 明暗センサーと連動して暗所停止

音量調節 ロータリー式ボリューム

お知らせ機能 秒針が常時12時位置に停止

モニター メロディの試聴

振り子 装飾用

電波受信機能 標準電波受信による時刻修正

自動受信について

受信状態により、受信回数は変化します。

受信開始時刻

2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒

\*2時16分20秒は必ず受信を行います。

※単1形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

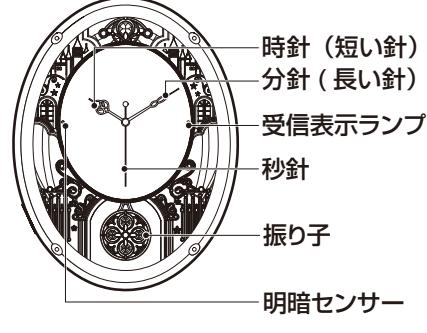
付属品 木ねじ 1個、 保証書 1枚

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

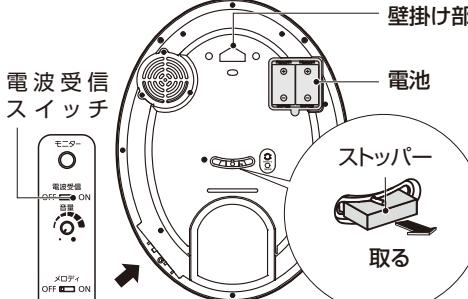
## 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

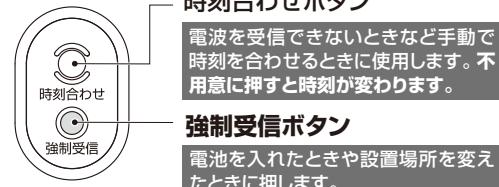
(正面)



(裏面)



(裏面操作部)



時刻合わせボタン

電波を受信できないときなど手動で時刻を合わせるときに押すと時刻が変わります。

強制受信ボタン

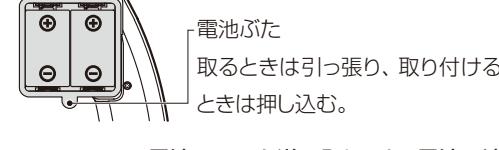
電池を入れたときや設置場所を変えたときに押します。

側面操作部

ストッパーは、輸送時の振動や衝撃から機械を保護するものです。使用するときは取り外し、輸送する際は取り付けてください。

電池を入れる

単1形マンガン乾電池を電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて2個入れる。



△ 注意

電池の $\oplus\ominus$ を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

電池は付属しておりません。単1形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、[手動での時刻合わせ](#)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 電波受信スイッチをONにする

② 操作中にメロディが大きな音で鳴らないように音量を最小にする

③ 電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて単1形マンガン乾電池を入れる

④ 強制受信ボタンを押す [標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた](#) 参照

受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針が早送りで、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

⑤ ストッパーを取り

⑥ [時計の掛けかた](#) に従って時計を確実に掛ける

⑦ 受信開始から16分程度経過したら受信結果を確認する

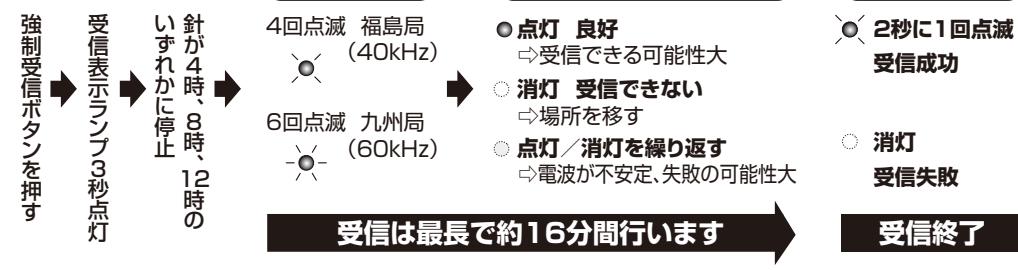
受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探すか、[標準電波を受信できない場合](#)を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

## 標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた



**電波サーチ機能の使いかた** .....受信しやすい所を探すには  
①窓際やベランダで(5)までを行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。  
受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。  
②時計を設置したい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。  
消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

③朝までそのままにしておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。  
電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

**手動での時刻合わせ** .....受信できないときや任意の時刻に合わせるとき  
時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。  
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになつてから操作してください。  
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

**操作**  
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。  
○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき秒針は停止します。

**秒針の動きについて**  
時刻合わせボタンを離したときゼロ秒に設定されます。秒針が12時位置に停止しているときは、すぐに動き出し、他のところに停止しているときは、秒針が指している時刻になると動き出します。

**電波受信機能のON/OFF切り替え操作**

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波受信スイッチをOFFにして電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

●電波受信スイッチをOFFにして強制受信ボタンを押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。

●電波受信スイッチをONにしたときには、必ず強制受信ボタンを押してください。

●受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときに、電波受信スイッチをOFFにしても、最長で24~25時間点滅することができます。

**こんなときには**

電波受信スイッチをONにして、強制受信ボタンを押しても受信表示ランプが点灯しない。

正常に戻すには、次の操作をしてください。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後に、必ず強制受信ボタンを押してください。

時刻合わせボタンを押し続ける → 時刻合わせボタンを離す → 時刻合わせボタンを離す → 時刻合わせボタンを押すと受信を開始

**明暗センサーのはたらき** .....暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合

●受信表示ランプの消灯 ●秒針を12時位置で停止 ●報時の停止

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

**静電気の影響について**

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

## 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると常時秒針が12時位置に止まり、電波の受信と報時を停止します。時針と分針はこのような状態になってから1ヵ月程度動き続けますが早めに電池を交換してください。

**△ 注意 電池の交換** 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

※単1形マンガン乾電池2個の代わりに、単1形アルカリ乾電池2個を使用することができます。



## お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。